

高校生による
「特殊詐欺防止啓発活動」
に関する報告書

2024 年度 鳥取県立鳥取湖陵高等学校

目次

活動の趣旨・経緯	2
学校概要	3
実施スケジュール、実施概要	3
活動レポート	
* 5月	
中国労働金庫職員による「高校生のための消費者講座」の実施.....	4
* 8月	
特殊詐欺防止啓発活動の報告	
（令和6年度鳥取県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会）.....	6
* 9月	
啓発グッズの制作（着ぐるみ・チラシ、名刺型絆創膏など）.....	8
* 11月	
特殊詐欺防止啓発活動の実施（エスマート湖山店）.....	10
特殊詐欺防止啓発活動の実施（湖陵フェスタ）.....	11
* 12月	
特殊詐欺防止啓発活動の実施（地場産プラザわったいな）.....	12
* 1月	
特殊詐欺防止啓発活動の報告（第1回鳥取湖陵高等学校課題研究発表会）.....	13
各媒体における紹介	14
啓発グッズの配付実績	14
1年間のまとめ	15

活動の趣旨・経緯（全国銀行協会から）

本取組みは、学校家庭クラブ等の枠組みを活用して、生徒自身が特殊詐欺の被害が身近なところで起きている問題であることと捉え、その防止策等について理解し、生徒自身が考えた「特殊詐欺防止啓発活動」を地元地域で実践することで、生徒による社会貢献活動、ひいては地域における「特殊詐欺防止啓発活動」の自立的な広がりを期待したものである。全国銀行協会（全銀協）は本取組みに関して、支援金の拠出や、活動に当たっての各種アドバイスや資料提供などのサポートを行うこととしている。

本取組みは、①「消費者教育に関する基本的な方針」（2013年6月閣議決定、2018年3月変更）において、金融経済教育と連携した消費者教育を推進することが重要であることが示されたこと、②学校教育において、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習の重要性が高まっていること、③全銀協の金融経済教育活動懇談会（2015年2月開催）において、学校家庭クラブの活用、特殊詐欺防止をテーマとした生徒による教材制作について提言があったこと、などを踏まえ、2016年度より導入したものであり、以下のような効果を期待している。

- 対象層数の拡大…金融経済教育に取り組む学校・教員・生徒数の増加
- 教育現場との連携強化…教育委員会・家庭科教員との新たなパイプ作り
- アクティブラーニングの実践…高校生が主体的・協働的に学ぶ学習機会の提供
- 金融犯罪防止啓発活動の効果…高校生が考える防止啓発活動の実践
- 対外PR力の向上…高校生による活動報告公表による広告効果

9年目となる2024年度は、鳥取県教育委員会下で実施校を募集し、鳥取県立鳥取湖陵高等学校に「特殊詐欺防止啓発活動」を委嘱した。

学校概要

■沿革

平成13年 4月1日 鳥取県立鳥取湖陵高等学校 開校
令和3年 4月28日 創立20周年記念式典挙行

■学校の教育方針

- ・自立 自己の向上に努め、たくましく社会を生きぬく力を育成する
- ・協同 お互いを思いやり、共に行動できる豊かな人間性を育成する
- ・創造 実践をとおして、新たな価値を創造できる力を育成する

■教育目標

- 「多面的な取組で地域産業を担う専門人材を育てる教育を推進する」
- (1) 実験実習、資格取得などの実践的な教育を基礎に、習得した知識・技能を社会で活用する基礎的な力も養い、勤労観・職業観を育て、キャリアの充実を図ります。
 - (2) 新たな学び方を通し、生徒の主体的で深い学びを促し他者と協調する能力を養います。
 - (3) 人権尊重の心を育て、自他ともに尊重する共生の精神を形成します。
 - (4) 生徒一人ひとりの心情を理解し共感と相互信頼に基づいた指導を通して、規範意識を高め、市民としての素養を身につける取組を進めます。

■求める生徒像

- (1) 目標をしっかり持ち、学習や学校行事、部活動などに意欲的に取り組む人
- (2) 社会や学校のルールやマナーを守り、人間関係を大切に人

実施スケジュール

5月	・中国労働金庫職員による「高校生のための消費者講座」の実施
8月	・特殊詐欺防止啓発活動の報告 (令和6年度鳥取県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会)
9月	・啓発グッズの制作(着ぐるみ・チラシ・名刺型絆創膏)
11月	・特殊詐欺防止啓発活動の実施(エスマート湖山店) ・特殊詐欺防止啓発活動の実施(湖陵フェスタ)
12月	・特殊詐欺防止啓発活動の実施(地場産プラザわったいな)
1月	・特殊詐欺防止啓発活動の報告 (第1回鳥取湖陵高等学校課題研究発表会)
3月	・活動まとめ

実施概要

学校家庭クラブ委員会での活動を中心に、学校全体で協働して実施。

活動レポート

5月22日（水）13:45～15:35

中国労働金庫職員による「高校生のための消費者講座」の実施

（講師：中国労働金庫 鳥取支店 真野充張 様）

消費者被害・事故について学ぶことで消費者の権利と責任を自覚し、自立した賢い消費者となることの大切さや情報リテラシーの重要性について理解することを目的に、中国労働金庫鳥取支店職員による講義が実施された。当日は、2年人間環境科課題研究家庭クラブチーム8名が参加した。

講義では、特殊詐欺について、成年年齢の引下げによる変化、お金に関するトラブル事例などを確認した後、詐欺広告をどのように見極めたらよいかグループワークを行った。

はじめに、詐欺について、消費と契約、成年年齢の引下げによる変化について講師から説明があった。

【詐欺とは】

詐欺…巧みに偽って金品をだまし取ったり、相手に損害を与えたりすること。詐欺には、お金を払うかわりにサービスを受け取る「消費と契約」が絡んでくることが多い。

【消費と契約について】

消費…商品や権利、サービスを、金銭を用いて購入し使用すること。

契約…人と人との約束ごと。約束は守らなくてはならない。

【成年年齢引下げでどうなる】

2022年4月から成年年齢が18歳に。親の同意が必要だったさまざまな「契約」を、18歳以上であれば自分の責任で結ぶことができる。

★未成年者取消権…未成年者が不利益を受けないよう、保護者などの同意を得ず結んだ契約は、原則として後から取消しができる。

次に、特殊詐欺の手法と若者が被害やトラブルに遭いやすい理由について講師から説明があった。

【特殊詐欺の手法～ターゲットによって手法はさまざま～】

高齢者…まとまったお金の詐欺が目的、アナログな手法（電話・ATM誘導など）

例：オレオレ詐欺・預貯金詐欺・還付金詐欺

若者・中年…少額の詐欺が目的、デジタルな手法（ネット・メール・SNSなど）

例：投資詐欺・マルチ商法・架空請求

【若者が詐欺被害・トラブルに遭いやすい理由】

- ・ 社会経験が少ない＝情報量・経験値が少ない
- ・ 消費経験が少ない＝相場を知らないものが多い
- ・ 失敗経験が少ない 例：安いものを買ってすぐに壊れた・偽物を買わされた
- ・ 事例を知らない 例：身近な人がトラブルにあったことがない

商品・サービスの価格は需要と供給で決まること、市場で取引される商品などの値段の相場を知ること、相場はさまざまな要因で変化すること、相場を知るための情報収集が大切であること、情報の非対称性（一方の当事者がもう一方の当事者よりも多くの、または優れた情報を持っている状態のこと）が取引における力関係の不均衡を生み出すことを理解しておく必要があることも伝えられた。

ここまでの内容を踏まえ、トラブルを避けるためのポイント、トラブルに遭った場合の対処法、情報を取り入れる際に注意したいことを確認した。

【トラブルを避けるための鉄則】

- (1) おいしい話には気をつける

- (2) 向こうから近寄ってきてははっきり断る
- (3) 万が一トラブルに遭っても、決して諦めない

【トラブルに遭ってしまったら】

悪質な業者との契約の取消し・無効

- (1) 未成年者による法律行為→民法(親などの同意がない等の法律行為の取消し)
- (2) 不当な契約条項、不当な勧誘による契約→消費者契約法(条項無効、契約取消し)
- (3) 訪問販売、電話勧誘、エステ、マルチ商法など→特定商取引法(クーリング・オフ制度による解約など)

消費トラブル等に関する相談窓口

- (1) まずは 188 番(いやや!)に電話
- (2) 金融サービスについては、金融庁や業界団体等が相談窓口を設置

【情報を取り入れる際に注意したいこと】

- ・ 確証バイアス、追認バイアス…自分に都合のいい情報だけを集めて、それにより自己の先入観を補強するという傾向。
- ・ 正常性バイアス…何らかの被害が予想される状況下にあっても、自分にとって都合の悪い情報を無視したり、「自分は大丈夫」などと過小評価したりしてしまう人の心の特性。

講義のまとめとして、SNS での詐欺広告や偽サイトをどのように見極めるかをグループで話し合った。

講師からは詐欺広告や偽サイトをチェックする際のポイントが伝えられた。

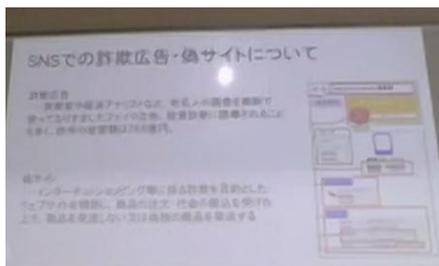
- ・ サイトの URL 表記が見慣れないドメイン(top/xyz など)
- ・ 日本語の表記が不自然
- ・ 法人運営サイトで、振込口座は個人名義(または外国人名義)
- ・ 事業者情報(所在地・会社名・電話番号)に不備がある

最後に、講義の内容を改めて確認し、一人一人が自立した消費者になれるよう学び続けることの大切さが伝えられ講義は終了した。

【生徒の感想(抜粋)】

- ・ 成人年齢が 18 歳になったことで、親の同意がなくても自分の意思で契約ができるようになり、詐欺に遭う可能性が高まっていることが分かった。情報を取り入れる際には、「友達が言っていたから」や「好きな芸能人が使っているから」というだけで信用してしまわないよう、自分で考える力が必要だと思った。若者はインターネット上での詐欺被害が多いので、自分も詐欺に遭わないように注意したい。
- ・ だまされないためには、色々な物の相場を知る必要があると分かった。若者が詐欺に遭いやすい理由が分かったので、しっかり調べたり、相談したりしないといけないと思った。自分は大丈夫と思い込ませて、どんどんお金を取られていくところが詐欺の怖いところなので、だまされないようにするために情報収集し、その情報が正しいかを確認することが大事だと分かった。今日学んだ内容を今後に生かしていきたい。

【講座の様子】



8月6日（火）12:30～16:00

特殊詐欺防止啓発活動の報告

（令和6年度鳥取県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会）

令和6年度鳥取県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会が、鳥取県立鳥取湖陵高等学校で実施され、県内の高等学校4校から教員と生徒合わせて39名が参加した。鳥取県立鳥取湖陵高等学校は、A部門ホームプロジェクトの部、B部門学校家庭クラブ活動の部で特殊詐欺防止啓発活動について、以下の内容を発表した。

A部門ホームプロジェクトの部「特殊詐欺から家族を守ろう！」

【テーマ設定の理由】

家庭クラブ活動を通して得た特殊詐欺防止の知識を活かして自分と家族を守るため

1. 実態調査と問題点の把握

- ① 特殊詐欺防止に関して調査
- ② 鳥取県内の被害状況の調査（スマートフォンを通じた詐欺被害が多いことが判明）
- ③ 家族のスマートフォン利用状況についてインタビュー
- ④ 消費者庁「だまされやすさを測る心理傾向チェック！」の実施

https://www.caa.go.jp/future/project/project_001/material/pdf/project_001_190329_0001.pdf

2. 実践活動Ⅰ

- ① 金融のプロから特殊詐欺防止について学ぶ
中国労働金庫鳥取支店 真野充張様による講座
- ② 講座で学んだ内容を家族と共有
- ③ 家族一人一人の被害防止対策を調査

3. 中間評価

- ・ 家族で特殊詐欺防止の意識を高めることができた。
- ・ 詐欺防止のためには、意識を変えるだけでなく具体的な方法を考え、行動に移すことが必要。

4. 実践活動Ⅱ

- ・ 固定電話のコンセントからプラグを抜き、不審電話をシャットアウトした。
- ・ 啓発ポスターを作成し、家族が見るところに掲示した。
- ・ 一人一人の被害防止策カードを作成し、家族に手渡した。

5. 評価と今後の課題

- ・ 特殊詐欺は身近にあるということが意識できた。
- ・ 「自分はだまされない」と思っているにもかかわらず詐欺被害に遭うことがある。家族で声をかけ合うことが大切だと感じた。
- ・ 研究の成果はすぐに表れるものではないが、家庭内での啓発活動を継続していく。

審査結果：優秀賞

審査員からの講評

- ✓ 特殊詐欺という社会問題をテーマにした点がよかった。
- ✓ 県内の被害状況を調査し、考察した内容をもとに家族へインタビューするという流れで、社会状況と個別の問題をリンクさせることができていてよかった。
- ✓ 中間評価を踏まえ次の実践に繋げている点がよかった。

B部門（審査対象外）学校家庭クラブ活動の部

「ゆる活のススメ！～イメージキャラクターで学校を盛り上げよう！～」

学校イメージキャラクター「こりよっぴ」を用いた家庭クラブ活動と、特殊詐欺防止啓発活動における「こりよっぴ」の活用予定（啓発ポスターの作成、着ぐるみの活用）を発表した。

改めて、特殊詐欺防止に取り組む意義や啓発活動の重要性を確認できた発表となった。

【生徒の感想(抜粋)】

- 研究を進めていく中で、その課題に対してどのような問題点があるか、どのような解決策があるかなど、自分で考えたり周りの人と考えたりすることができた。発表に際しては参加者に伝わりやすいように、話すスピードや読み間違いのないように注意した。
- 他校では、実体験や研究結果について具体的に分かりやすく発表していた。自分も次の機会があれば、そのように発表できるようにしたいと感じた。

【発表の様子：A部門】



【発表の様子：B部門】



9月 啓発グッズの制作（着ぐるみ・チラシ・名刺型絆創膏）

家庭クラブ委員会を中心に、こりよっぴ着ぐるみ、啓発グッズ（チラシ・名刺型絆創膏）の制作を行った。

学校のイメージキャラクターである「こりよっぴ」を活用し、小さい子どもからお年寄りまで幅広い世代にアプローチしやすいデザインを考え、地域での特殊詐欺防止への意識を高めてもらうことに寄与する啓発グッズに仕上がった。

【着ぐるみ】



【名刺型絆創膏】



【チラシ】



未然に防止 特殊詐欺

特殊詐欺防止対策

- 電話がかかってきても自分の名前は教えない
- 知らない番号から電話がかかってきたら、まずは家族や警察に相談する
- 知らない番号や非通知の電話には出ない

シャープきゅういちいちまる
警察相談専用電話 # 9110



ワンクッションで詐欺を断ろう！
(全国銀行協会公式 YouTube チャンネル)



特殊詐欺の手口と対策
(警察庁 HP)



特殊詐欺
(鳥取県警察 HP)

鳥取県立鳥取湖陵高等学校 家庭クラブ
(2024年度 特殊詐欺防止啓発活動 支援：一般社団法人 全国銀行協会)

特殊詐欺に注意！

医療費の払い戻しの手続きに、連絡やキャッシュカードの提出が必要だと言われた。

預貯金詐欺

子どもや孫から「お金が急ぎ必要だ」という電話がかかってきた。

オレオレ詐欺

困ったらここに電話
警察相談専用電話
シャープきゅういちいちまる
9110



ワンクッションで詐欺を断ろう！
(全国銀行協会公式 YouTube チャンネル)



特殊詐欺の手口と対策
(警察庁 HP)



特殊詐欺
(鳥取県警察 HP)

鳥取県立鳥取湖陵高等学校 家庭クラブ
(2024年度 特殊詐欺防止啓発活動 支援：一般社団法人 全国銀行協会)

特殊詐欺から自分を守ろう！

○特殊詐欺への対策

- 知らない番号や非通知の電話は、相手に名乗らせる。
- こちらからは名前を告げない。
- 「電話番号が変わった」と知らせてきたら、以前の番号へ必ず確認の連絡をする。
- 相手に言われるまますぐに振り込んだり、お金やキャッシュカードなどを渡さずに、近くの警察署や家族、信頼できる友人などに相談する。

自分を守るためにも相談を！

シャープきゅういちいちまる
警察相談専用電話 # 9110



ワンクッションで詐欺を断ろう！
(全国銀行協会公式 YouTube チャンネル)



特殊詐欺の手口と対策
(警察庁 HP)



特殊詐欺
(鳥取県警察 HP)

鳥取県立鳥取湖陵高等学校 家庭クラブ
(2024年度 特殊詐欺防止啓発活動 支援：一般社団法人 全国銀行協会)

特殊詐欺から身を守る！

特殊詐欺に「まけない」

- ま** — 惑わされないで
- け** — 携帯電話やスマートフォン
- な** — 何らかの手口を使う
- い** — 異変に敏感で

誰もができる対策
個人情報やパスワードをしっかりと管理する

不安なときには相談を
シャープきゅういちいちまる
警察相談専用電話 # 9110



ワンクッションで詐欺を断ろう！
(全国銀行協会公式 YouTube チャンネル)



特殊詐欺の手口と対策
(警察庁 HP)



特殊詐欺
(鳥取県警察 HP)

鳥取県立鳥取湖陵高等学校 家庭クラブ
(2024年度 特殊詐欺防止啓発活動 支援：一般社団法人 全国銀行協会)

特殊詐欺に気をつけよう！

- こ** → この電話は詐欺？
- り** → 臨機応変に
- よ** → よく知ろう、詐欺の手口
- つ** → 繋ごろう、いつでも家族と
- び** → ピンチの時には迷わず相談！

例：オレオレ詐欺 預貯金詐欺 金融商品詐欺
ギャンブル詐欺 キャッシュカード詐欺盗など

シャープきゅういちいちまる
「警察相談専用電話 # 9110」



ワンクッションで詐欺を断ろう！
(全国銀行協会公式 YouTube チャンネル)



特殊詐欺の手口と対策
(警察庁 HP)



特殊詐欺
(鳥取県警察 HP)

鳥取県立鳥取湖陵高等学校 家庭クラブ
(2024年度 特殊詐欺防止啓発活動 支援：一般社団法人 全国銀行協会)

特殊詐欺に注意！！

- こ** → 高齢者だけが狙われるとは限らない！？
- り** → 理不尽な特殊詐欺
- よ** → 良さそうな話には裏がある
- う** → うんうんと肯定ばかりせずに疑ってみよう！！

詐欺かなと思ったら…
シャープきゅういちいちまる
警察相談専用電話 # 9110 へ！



ワンクッションで詐欺を断ろう！
(全国銀行協会公式 YouTube チャンネル)



特殊詐欺の手口と対策
(警察庁 HP)



特殊詐欺
(鳥取県警察 HP)

鳥取県立鳥取湖陵高等学校 家庭クラブ
(2024年度 特殊詐欺防止啓発活動 支援：一般社団法人 全国銀行協会)

11月6日（水）14:00～15:00

特殊詐欺防止啓発活動の実施（エスマート湖山店）

エスマート湖山店前で、鳥取警察署と合同で「特殊詐欺防止啓発活動」を実施した。

活動に参加した生徒7名は、学校のマスコット「こりよっぴ」や警察署員と一緒に、「特殊詐欺に気を付けてください」、「プラスで始まる電話番号は国際電話で詐欺の可能性があります」など来店者に声がけをしながら、啓発グッズやチラシの配付を行った。

鳥取県内の2024年1月～10月までの特殊詐欺被害件数は62件で、去年同期比で5件上回っている※ことを踏まえ、1件でも特殊詐欺被害を減らすことができるよう引き続き活動を行うこととしている。

※鳥取県警察 特殊詐欺事件の認知件数、被害金額の状況（PDF ファイル）
<https://www.pref.tottori.lg.jp/68795.htm>

【生徒の感想】

- 特殊詐欺について意識されている方、初めて知った方などさまざまだったので、啓発活動の内容を改善していく余地があると思った。配付したチラシが役に立てばよいと思った。
- 制作したチラシを配付する際に声がけや説明をし、地域の方々に向けて特殊詐欺防止について啓発活動を行うことができた。
- 自分のイラストがチラシや絆創膏に使用されたこともあり、啓発活動に気持ちを込めて取り組むことができた。チラシを配付する際、注意してほしいことや大切なことを伝えることができたので、今回の活動を通して特殊詐欺被害に遭う人が減ってくれたらと思う。

【活動の様子】



11月16日（土）10:00～14:00

特殊詐欺防止啓発活動の実施（湖陵フェスタ）

令和6年度鳥取県立鳥取湖陵高等学校学校祭（湖陵フェスタ）で、特殊詐欺防止啓発活動を実施した。第一体育館の「こりよっピランド」で、来校者に啓発グッズ（チラシ、絆創膏）の配付を行った。

人間環境科の企画「こりよっピランド」は来校した子どもたちの遊びコーナーとして、ぬり絵や折り紙などを楽しめる場として設置。子どもたちが遊んでいる間、保護者に特殊詐欺の種類や手口を説明し、啓発グッズを手渡した。

生徒の家族や他校の生徒、卒業生など多くの方に特殊詐欺被害や本活動について知ってもらえる機会となり、充実した活動となった。

【生徒の感想】

- はじめは緊張したが、来場者に声かけをしながら啓発グッズを配ることができた。
- 多くの来場者に特殊詐欺防止啓発活動について知ってもらえることができた。

【活動の様子】



12月21日（土）9:00～12:00

特殊詐欺防止啓発活動の実施（地場産プラザわったいな）

地場産プラザわったいなで、食品システム科の野菜、加工品販売実習に合わせて「特殊詐欺防止啓発活動」を実施した。

活動に参加した人間環境科3年の生徒3名は、買い物に来られた方々に声がけをしながら啓発グッズを配付した。

参加した生徒たちは、これまでも多くの家庭クラブ活動やボランティア活動に参加してきた経験があり、積極的に活動する様子が見られた。少人数の活動で啓発グッズの配付数は多くなかったものの、生徒たちやこりよっぴ着ぐるみには地域の方々からあたたかい言葉がかけられていた。

特殊詐欺防止啓発活動を通して、鳥取県立鳥取湖陵高等学校の魅力PRにもつながる活動となった。

【生徒の感想】

- 寒い中だったが、積極的に啓発チラシを配付することができた。
- 地域の方々が、特殊詐欺防止啓発活動を応援してくださり嬉しかった。
- こりよっぴ着ぐるみでの特殊詐欺防止啓発活動が楽しかった。次回も参加したい。

【活動の様子】



1月16日（木）9:00～12:00

特殊詐欺防止啓発活動の報告（第1回鳥取湖陵高等学校課題研究発表会）

鳥取市民会館大ホールで「第1回鳥取湖陵高等学校課題研究発表会」が実施され、生徒427名が参加した。

2年人間環境科課題研究家庭クラブチームの生徒7名が発表代表として登壇、4月から12月までの特殊詐欺防止啓発活動の成果として以下の内容を発表した。

1. 特殊詐欺防止啓発活動の趣旨
2. 調べ学習やアンケート調査結果
3. 講座で学んだ内容
4. 準備段階から実際の啓発活動の様子
5. 成果と今後の課題

発表時にはこりょっぴ着ぐるみもステージに登場し、会場は大いに盛り上がった。

質疑応答では、高校生が被害に遭いやすい詐欺についてなど、生徒から多くの質問が寄せられた。

来賓からの講評では、「詐欺の防止だけにとどまらず、自分たちが加害者になる可能性（闇バイト等）についても踏み込むとさらにより研究になる」とアドバイスをいただいた。

発表時の会場の反応、質疑応答での質問数から、多くの生徒が本活動に関心を持っている様子がうかがえた。成果発表と同時に全校生徒に向けて特殊詐欺防止啓発活動を行うことができた発表となった。

- 講評
- ・公立鳥取環境大学 環境学部 環境学科 准教授 佐川龍之氏
 - ・鳥取短期大学 生活学科 情報・経営選考 准教授 三沢英貴氏
 - ・独立行政法人教職員支援機構 教職員の学びの協働開発部 連携推進課 課長補佐／研修プロデューサー 堀内貴臣氏

【生徒の感想】

- ・大勢の前で発表するプレッシャーもあったが、活動の成果をしっかりと伝えることができた。
- ・思った以上に質問が多く回答に時間がかかったが、たくさんの人に興味を持ってもらうことができて嬉しかった。

【発表の様子】



■各媒体における紹介

- さんいん中央テレビ 2024年11月6日(水) 19:27 配信(1分22秒)
「特殊詐欺に気を付けて！」高校生が手づくりチラシで被害防止を呼びかけ(鳥取市)
- 朝日新聞 2024年11月23日(土)
高校生が特殊詐欺防止活動 デザインしたチラシ配り、注意呼びかけ

■啓発グッズの配付実績

活動/配付先	日付け	チラシ	絆創膏
特殊詐欺防止啓発活動 エスマート湖山店	11/6(水)	40	40
特殊詐欺防止啓発活動 湖陵フェスタ	11/16(土)	240	240
特殊詐欺防止啓発活動 地場産プラザわったいな	12/21(土)	30	30
第1回鳥取湖陵高等学校 課題研究発表会	1/16(木)	500	500
校内配付(教職員・学校関係 者など)	2~3月	150	150
合計		960	960

■ 1年間のまとめ

この1年間、特殊詐欺防止啓発活動を行ってきた家庭クラブ員と担当の山本教諭に、1年間の活動について振り返ってもらった。

〈生徒の振り返り〉

①活動を通して学んだこと、気づいたこと

- ・ 「特殊詐欺ってなんだろう」というところから始まった活動だが、警察の方などの話を聞いたり、実際に地域で呼びかけをしたりと活動をしていく中で、特殊詐欺のことを知り、誰もが被害に遭う可能性があることが分かった。
- ・ 特殊詐欺と聞いても具体的にどのようなことか分からなかったが、今回の啓発活動を通して詳しく知ることができ、対策案を考えることもできた。啓発グッズ配付の際には受け取ってもらえないこともあったが、特殊詐欺の危険性について気付いてほしいと強く思った。自分のスマートフォンでも簡単に特殊詐欺被害に遭ってしまうということを講演で知り、身近なところから注意しなければいけないと思った。

②活動を通して頑張ったこと、自分の成長や社会への貢献を実感したこと

- ・ 街頭啓発活動は初めての校外活動で緊張したが、警察の方のアドバイスを聞きながら取り組んだ。この活動を行うことで地域の方々が熱心に話を聞いてくださり、とてもやりがいを感じた。家庭クラブとして真剣に活動に取り組むことができ、力を発揮できた。
- ・ 啓発グッズを配付したり啓発活動の発表をしたことで、周囲の人や地域の人に特殊詐欺の危険性を伝えることができたのではないかと思った。そこで、自分自身も特殊詐欺への対策案を考えたり実行したりすることで、成長できたと感じる。この活動に対して応援してくださる声もあり、家庭クラブがチームとして活動する上での士気が高まったと思う。

③これからの生活の中で実践していきたいこと

- ・ これからも特殊詐欺について多くの人に知ってもらい、対策案などを呼びかけていきたい。家族や自分が被害に遭ったらということを踏まえて、対策を行っていきたい。そして、貴重な経験を生かし、特殊詐欺防止啓発活動に関わってくださった方々に感謝しながら生活していきたい。
- ・ これからも、特殊詐欺防止啓発活動で学んだことを身近な人をはじめ多くの人に広めていきたい。また、自分も特殊詐欺の被害に遭わないように気をつけたい。

〈担当教諭の振り返り〉

鳥取湖陵高等学校は、4つの学科、5つの科からなる総合選択制の専門高校である。本校家庭クラブには家庭基礎を履修している1年生と、2年人間環境科（家庭学科）、3年人間環境科（家庭学科）の生徒が所属しており、家庭クラブ役員が中心となって活動している。校内での清掃活動や料理講習会の運営をはじめ、校外のさまざまなボランティア活動にも参加しており、多くの生徒が活躍している。また、毎年さまざまな研究活動を行っており、特にここ数年は「学校イメージキャラクターこりよっぴを主軸とした学科連携・地域への魅力発信」の活動を行っていた。

そのような中、一般社団法人全国銀行協会様より「2024年度特殊詐欺防止啓発活動」の委嘱についてお話をいただいた。一大プロジェクトであるため無事に成し遂げられるだろうかという不安もあったが、特殊詐欺防止啓発活動を実践することで学校の魅力を地域に発信するチャンスとなるのではないかと、支援金や各種機関からの協力により活動の幅がさらに広がるのではないかと期待し、正式に委嘱を受けることとした。

活動を行うにあたり、中国労働金庫鳥取支店、鳥取警察署といった地域の機関へ協力を仰いだところ快いお返事をいただいた。特に、鳥取警察署からは活動全般に関するアドバイスや協力をいただき、とてもありがたかった。金融のプロ、犯罪防止のプロ、それぞれに協力いただいたことで、普段の学習では得られない深い学びを得ることができた。そして、学習成果をもとにアイデアを出し合いながら啓発チラシやグッズを作成し、街頭啓発活動の準備を行うことができた。

街頭啓発活動では、鳥取警察署の方に生徒のサポートをしていただいた。生徒は緊張しながらも、口頭での呼びかけと啓発グッズの配付を行った。活動の最後には自信を持って声かけを行うことができおり、短い活動時間の中でも生徒の成長を感じることができた。地域の方々からも温かい言葉をいただいたほか、地元テレビ局や新聞社に取材していただいたことで、活動について広くPRすることができた。

1年間の活動を通して多くの成果が得られた。中でも、地域の方に本校家庭クラブの取り組みを知っていただき学校のPRに繋がったこと、啓発活動を通して地域へ貢献することで生徒の自信に繋がったことが大きかった。自分たちが工夫して作成した啓発チラシやグッズが受けとった方々の行動を変容させ、詐欺被害から救うことに繋がると実感することで、大きな達成感が得られたようである。

また、生徒自身も活動を通して自分や家族を詐欺被害から守るための知識を身につけることができたことも成果の一つである。

そして、今回の一番の成果であり、何よりもありがたかったのは、「学校イメージキャラクターこりよっぴを主軸とした学科連携・地域への魅力発信」という研究テーマをご理解いただき、全国銀行協会様からの支援で「広報用こりよっぴ着ぐるみ」製作ができたことである。完成した着ぐるみは地域・校内での啓発活動に参加し、生徒と一緒に啓発活動を行った。その存在感から地域の方々の目を引き、啓発活動の効果を上げることに役立ったと同時に、本校の魅力のPRにも繋がった。今後も啓発活動に限らずさまざまな場面で活躍することを願っている。

最後に、活動を行うにあたり、全国銀行協会様をはじめ、多くの機関から手厚い支援をいただいたことで貴重な経験が得られたことに感謝を申し上げたい。ご協力いただいた皆様への一番の恩返しは、今回の活動で学んだことを生かし、継続して学習していくことであると思っている。今回の活動で築いたご縁を大切にして、今後も地域機関と協力しながら啓発活動と学習を行っていきたい。